

2019年度 第4回番組審議会

議 事 録

株式会社エフエム戸塚

横浜市戸塚区川上町 91 番地 1

2019年11月21日

2019年度 第4回番組審議会 議事録

- 日 時 : 2019年11月21日(木) 13:30~14:30
 - 場 所 : モレラ東戸塚レンタルスペース Room3
 - 出 席 者 : 番組審議会委員4名
 - 審議会委員 : 金子 富康、鈴木 裕子、井上弘毅、齋藤 進治
 - 事務局 : 顧問・紺野 望、濱野 歩、パーソナリティ・田口晴奈
 - 議 事 録 : 番組審議会事務局作成
-

■議題

1. 番組: 10月11日(金) 生放送番組

「Evening station」に関するご意見について

2. 放送番組全般に関するご意見・ご感想について
3. その他ご意見ご感想について

■議事

1. 番組: 10月11日(金) 「Evening station」に関するご意見

～番組の説明～

この番組は平日の17時～18時55分まで放送している、エフエム戸塚制作の夕方の生放送番組。

この10月より県域エフエム放送局出身のアナウンサーによる、ワンマンオペレーションの情報・音楽番組としてリニューアルした。夕方の忙しい時間の中、アップテンポで耳心地のいい音楽を中心におきつつ、ニュース・交通情報・天気予報といったリアルタイムの情報発信を織り込んでいる。

また戸塚・栄・泉に縁をもつゲストの出演など、地域情報も織り交ぜながらライブ感を強く持ってやっている。月曜日～木曜日の4日間は濱野歩が、今回審議する金曜日は南真世がパーソナリティを務めている。2人とも10月から新しく番組を担当。

ー各審議会委員からの意見は次の通り

審議会委員(A)

- ・パーソナリティの南さんは、テンポよく滑舌のいい話し方で耳にスーッと入ってきた。
- ・ニュースなどがタイムリーにはいりながら軽快な音楽も入交じり、番組意図そのままを感じることができた。特に今回は台風19号の前の放送ということで、多くの人に聞いてもらいたいと改めて感じた。
- ・途中で栄区の河川の水位の状況も入ってきた
- ・「内容を変更しても台風情報を伝えます」というのは心強く感じた
- ・ゲストは知らない人物であったが、パーソナリティとの掛け合いが楽しく、聞いていて重要な情報が入ってきて声も爽やかだった。
- ・限られた時間の中で工夫して放送してもらった。「特別警報が出るかもしれない」と多く報道される中、細かい情報も入れてもらい、異例のなかであったとは思いますがテンポよくやっていた。通常放送の時も彼女のカラーがどう出るのか聞いてみたい。

審議委員(B)

- ・ニュースと音楽のバランスが良い。久々に楽しく聞かせていただいた。
- ・パーソナリティの話し方のテンポが良く上手で、いくつか囁んでいた部分もあったがニュースの読み方も上手だった。
- ・台風19号がまさに来るというときで耳に残るように近隣の情報はエフエム戸塚で聞くのがやっぱり一番だと思った。こういう部分はますます磨いてほしい。こういう災害情報をきっかけにエフエム戸塚を聞くようになってもいいのかな、と感じた。
- ・音楽が軽快であった。夕方にはこのくらいの曲出ないとリスナーに残らないのかなと感じた。

審議委員(C)

- ・最初にかかった曲「ラジオデイズ」スピッツの歌詞を見ながら、エフエム戸塚の皆さんの思いやパーソナリティのみなさんの思いが詰まっているのかな、と感じた。
- ・台風19号接近ということで情報がタイムリーに入ってきたが、この情報はどこから得ているのだろうとも感じた。特に近隣のお店の開店情報まできめ細かく伝えてくれて、安心感を与えてくれた。
- ・避難所の開設情報も丁寧であった。優しく気づかせてくれるような語り口だった。
- ・地域アンバサダーの若者による「ホットピ！」のコーナーでクラシックが流れたが、アップテンポな曲の中で楽しく聞かせてもらった。
- ・今回は伝えるべきことがたくさんあったからかも知れないが、南さんのパーソナリティが曲の紹介くらいでしか発揮できていなかった。
- ・「ラジオデイズ」歌詞のように危なそうなワクワクも伝えてくれる局であってほしいと思った。

審議委員(D)

- ・皆さんが仰るように、導入からテンポが良い。
- ・それまで落ち着いて喋っていたが、「ホットピ！」のコーナーからはじけた話し方になった。ゲストとのトークは、仲良さそうだなと感じる人も居れば、人となり判らないため、聞きづらいと感じる方がいるかもしれない、と感じた。
- ・パーソナリティが防災士の資格を持っているということから紹介してくれた情報もあり、タイムリーだった。
- ・台風情報については栄区も含めて報道していただいて良かった。避難所の開設情報などは、放送時と実際の区役所の情報と違うこともあった。区役所が正しい情報提供をできなければエフエム戸塚からも放送できないので、これは区役所もリアルタイムに情報提供しなければならないな、と課題であると感じた。
- ・栄区内の交通情報、環状4号線などの情報も欲しい。
- ・イベントの中止情報などは即時性があると感じた。

事務局から

- ・パーソナリティの南さんは10月から担当して、これが2回目の放送。本人にとってはまだまだ慣れない中で、パーソナリティのカラーを出すというのはなかなか難しかったと思う。
- ・全体的に情報過多のように感じた。終わった後に残った情報はなんだろう？と考えると、もう少し情報の整理が必要なようだ。曲も通常2時間番組なら7～8曲くらいかと思うが、13曲かかっている。聞かせるべき曲が1分半しか流れていないようなこともあり、聞かせる曲とBGMにする曲をわけたほうが良かった。
- ・今回は慣れていなかったのもあり、情報の整理も整えば彼女の良さがさらに出ると感じる。
- ・通常は音楽はフルでかけるよう心掛けているので、今回は情報を優先したやむを得ない対応だった。
- ・サウンドステッカーの英語が聞き取れなかったり、パーソナリティの話し方のリズムとは合っていないと感じる。これは編成側で見直す必要がある。ラジオ番組はリスナーにすんなりと流れるように入ってきて、心の中に残るよう聞かせるために、制作側は努力しなければならない。
- ・区役所との情報提供のうまい連携が今後必要である。ちょっとした台風や豪雨が猛威をふるう時代が変わっていている。コミュニティがこういったものにどう対応していくかが今後の課題であると、今日みなさんのお話を聞きながら感じた。情報提供の仕方をどうするか行政ともう少し詰めて話す必要を感じる。。取材だけではなく、ダイレクトな方法も考えていきたい。
- ・避難所に関しては満員になってしまう問題なども今後考えられる。これをいち早く伝えられるかどうかが大変なので今後も連携はとっていきたい。

2. 放送番組全般に関するご意見・ご感想について

3. その他の意見・ご感想について

審議委員(A)

・前回の番組審議会では15号について話題に上がり改めて連携を確認したが、今回は良い形になったのではないだろうか。戸塚区役所の記録を確認すると12日に「エフエム戸塚と連携して広報活動」とあるがどうだったのだろうか。やりやすいようにやり取りができていたか。

また、「避難所情報をもう一度伝えてほしい」などエフエム戸塚に問い合わせはあったか。

審議委員(B)

・放送についてはいろいろな立場から意見が出たかと思いますが、大事な情報が放送されているので広報活動にもぜひ力を入れてほしい。いかにラジオを聴いてもらうかも大事。

- ・避難所に関しては、災害によって違う場所であることを周知したほうが良いという意見も周囲からあった。
- ・消防団の活動に関わっているが消防団の広報誌に「災害時のニュースはこちらから」という風に紹介してもいいか。

審議委員(C)

- ・情報と音楽の構成などはパーソナリティ個人が決めているのか。
- ・例えばリスナーから「木が倒れていて通行止めだ」という情報が入ったとして、どの程度臨機応変に放送できるのか。

審議委員(D)

・災害の発生時、なかなか区役所側も区民からの電話の問い合わせ対応などに追われている。エフエム戸塚に情報を提供し正しい情報を流していただくのはとても重要なことだが、区役所も人が足りておらず、情報提供の仕方は考えなければならない。

ー各審議委員からの意見に対し、事務局からの回答は以下の通り

- ・戸塚区役所との連携について、わかりやすい原稿を送っていただきありがたかった。今後の課題として、実際に起きたタイミングでもっと早く、将来的には区役所から放送ができるような仕組みが作れると、更にリアルタイムな情報交換ができるのではないかと。問い合わせは、今回は無かった。
- ・広報誌に関しては紹介してもらって構わない。
- ・番組の構成に関して、あらかじめのひな形は編成担当の濱野が決めている。動かさない枠もあるが、イレギュラーな状況が起きたときは、生放送内でパーソナリティがリアルタイムに臨機応変に変えていけるようにしている。
- ・リスナーからの情報について、番組内で紹介するなどの対応は可能だが、まずは情報の信ぴょう性を確認する必要がある。

■審議会は、次回の日程を確認し終了した。

次回開催日：2019年1月16日（木）13：30から